「楢葉町地域福祉活動計画」の策定にあたって

令和3年、東日本大震災及び東京電力福島第1原子力発電所事故の発生から節目の10年目、さらに避難指示解除から5年余りが経過し、「新生ならは」創造に向け、着実に歩み続けてまいりました。

避難指示解除以降、医療・福祉・交流・商業施設などが整備され、かつての町の賑わいも回復しつつあり、子供たちの元気な声が至るところで聞こえてくるまでとなりました。



現在、全国的に少子高齢化や核家族の進行、人口減少、住民間におけるつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境変化が著しく、高齢者介護をはじめ、障がい者福祉、子育て支援、一人暮らしの方の孤立化、生活困窮者対策等福祉ニーズが多様化、複雑化、複合化しているのも現実です。

本計画は、「第4次楢葉町地域福祉計画」をベースにしつつ、関係する各種計画と整合性を図り、福祉分野での共通基本理念「みんなで 支え合い幸せを実感できる まち」を実現するため、基本目標・重点施策を掲げ、地域住民・地域民間福祉関係諸団体を主体とし、行政、福祉関係機関等との協働により、地域共生社会の実現に向けた「行動計画」となっております。

楢葉町社会福祉協議会における各種事業・活動に対しては、日頃から ご理解、ご協力、ご支援をいただいているところではございますが、今 後も全世代対応型の地域包括ケアシステムの構築も含め、地域福祉の充 実に向けた活動を展開してまいります。

結びとなりましたが、本計画の策定にあたり、ご多忙の中、貴重なご 意見・活発なご発言をいただくなどご尽力いただきました「楢葉町地域 福祉活動計画策定委員会」の各委員の皆さまをはじめ、アンケート調査 にご協力いただいた皆様、関係各位に厚くお礼申し上げます。

令和3年3月

社会福祉法人楢葉町社会福祉協議会 会 長 松 本 幸 英